



上 企 第 46 号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

上市町長 伊 東 尚 志



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

事務担当：企画課企画班 嘉藤
TEL 076-472-1111(内線 223)
FAX 076-472-1115

中期計画作成に係る、今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

重点化を進める上で特に優先度の高い政策

災害時の避難経路や輸送道路の確保のため、災害に強い道路づくりを推進することが、最も優先度が高いと考える。

橋梁の耐震化整備や補修、山間地等の地盤の弱い道路の強化により、道路機能を保持することを優先的に進め、必要に応じて代替路線の整備を進めるなど、万一の時に孤立する地域がないよう、日頃から備えることが重要であると考えます。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

限られた財源の中で効率的に道路整備を進めるため、今後は景観や観光を重視した高機能な道路整備や全国画一的な整備を行うのではなく、地域の実情に応じて、渋滞緩和のためのバイパス整備や交通量の多い道路の拡幅・歩道の確保等、地域住民が実際に使いやすい道路整備を優先的に進めることが重要であると考えます。

(機能重視の道路づくりが大切。グレードに重点をおかなくても良い。)

その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 新たな道路計画をたてるだけでなく、現在計画されている道路の早期整備を実現していただきたい。
- ・ 右折レーン設置等の交差点改良による渋滞緩和策や、スマートICの設置など、大規模な開発をしなくても道路環境の充実を図ることができる事例もある。今後も工夫に努めるとともに、予算が限られていることを念頭に置きつつ、地域の実情に応じた整備案に柔軟に対応していただきたい。
- ・ 国道、県道、市町村道を問わず、交通量や現場の状況に応じた対応が必要である。
- ・ 道路計画に、次の2点を要望する。
 - ① 富山県東部山麓道路の整備における進捗率の向上
 - ② 富山ー長野を結ぶ北アルプス長大トンネルの実現